

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	くすのき保育園	施設種別	保育所 (旧体系：)
評価機関名	京都府保育協会		

平成 20年12月16日

総 評	<p>くすのき保育園は、八幡市から平成19年に社会福祉法人若竹福祉会に移管された保育園です。京阪八幡市駅の南東に位置し、園庭東側に木津川の堤防が開け、西側には八幡山があり、豊かな自然に恵まれています。</p> <p>地域の子育てニーズや保護者の意向に基づき、保育時間の延長を行うなど、保育サービスの質の向上に努力しています。</p> <p>園長はリーダーシップを発揮し、職員の意見を丁寧に聞き取る一方、必要に応じてアドバイスや職員間の連携強化を行っています。</p> <p>地域に根付いた保育サービスの更なる展開を期待します。</p>
特に良かった点 (※)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年齢ごとの指導計画を担当職員で作成・掲示し、保護者と協同のもと子育てを行おうという姿勢が伺えます。 ・ 移管前に築いてきた公立園とのネットワークを継続するとともに、関係機関との交流を行い、地域の公共施設を活用した保育活動や路線バスを利用した社会体験などを実践しています。 ・ 子ども一人ひとりの体調や状態を園長、主任、保育士が、毎日のミーティングや連絡ノートの活用で共有、連携しており、職員全体で保育サービスの実践が行われています。
特に改善が望まれる点 (※)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の安全確保対策として、非常ボタンの設置や警察への直接連絡、職員の笛の携帯などが実施されていますが、不審者対策などを更に検討されるとなお良いでしょう。 ・ 戸外遊び同様、室内遊びの工夫、充実をされるとなお良いでしょう。

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【共通評価基準】

評価結果対比シート

受診施設名	くすのき保育園
施設種別	保育所
評価機関名	京都府保育協会
訪問調査日	平成20年12月16日

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 理念・基本方針	I-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。	① 理念が明文化されている。	A	A
		② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	A	A
	I-1-(2) 理念、基本方針が周知されている。	① 理念や基本方針が職員に周知されている。	A	A
		② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	A	A
I-2 計画の策定	I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。	非該当	非該当
		② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。 (当面の間、「事業計画」についてのみ評価を行う)	A	A
	I-2-(2) 計画が適切に策定されている。	① 計画の策定が組織的に行われている。 (当面の間、「事業計画」についてのみ評価を行う)	A	A
		② 計画が職員や利用者等に周知されている。	A	A
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	B	A
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	A	A
	I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	A	A
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	A	A

「自由記述欄」

・理念・基本方針は明文化されており、職員には職員会議や職員研修で周知されています。また、職員室にも掲示し、周知・徹底を図っています。利用者には入園のしおりを作成し、入園説明会などで配布し、説明されています。

・法人としての事業計画を明確に策定されています。

・園長は、毎朝朝礼を行い、理念に則した保育を行うために管理者としてのリーダーシップを発揮しています。また、主任も職員一人ひとりの意見を丁寧に聞き取り、必要に応じてアドバイスするなど保育士等職員間の連携強化に努めています。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	B	A
		② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	非該当	非該当
		③ 外部監査が実施されている。	非該当	非該当
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	A	A
		② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	A	A
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	A	A
		② 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	A	A
	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	A	A
		② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	A	A
		③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	A	A
	II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	A	A
		② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	A	A
	II-3 安全管理	II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。	① 緊急時(事故、感染症の発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	A
② 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。			A	B
	II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	A	A
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	A	A
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	A	A
	II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	A	A
		② 関係機関等との連携が適切に行われている。	A	A
	II-4-(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。	① 地域の福祉ニーズを把握している。	A	A
		② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	A	A

【自由記述欄】

・平成19年4月、八幡市から、社会福祉法人若竹福祉会に移管された際、地域との情報交換を行い、経営環境の把握に努めています。

・毎月全体職員会議及び担当年齢ごとの職員会議を設けています。管理者は担当職員の業務について、一人ひとりに適切な指示を行い、必要に応じてフォローを行っています。

・職員本人の配置希望や意向を聞きとり、その結果を法人管理職で検討し、適材適所の人員配置を行うなど必要な運営体制を構築しています。

・子どもの安全を確保するため、職員の笛の携帯、警察に直結する防犯ベルの設置などの取り組みを行っています。門扉については、施錠方法などを見直し、利用者の安全をより高く確保されとなお良いでしょう。

・ドッジボール大会など地域の民生児童委員を招待した各種行事を催し、移管前に築かれてきた公立園とのネットワークを継続しています。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果		
			自己評価	第三者評価	
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	A	A	
		② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	A	A	
	Ⅲ-1-(2) 利用者満足の向上に努めている。	① 利用者満足の向上に意図した仕組みを整備している。	A	A	
		② 利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。	A	A	
	Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	A	A	
		② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	A	A	
		③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	A	A	
	Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	A	A
			② 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	B	A
③ 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。			B	B	
Ⅲ-2-(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。		① 個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	A	A	
		② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	B	A	
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。		① 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	A	A	
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	A	A	
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A	A	
Ⅲ-3 サービスの開始・継続		Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	A	A
	② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。		A	A	
	Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	B	A	
Ⅲ-4 サービス実施計画の策定	Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。	① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	A	A	
		② 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	A	A	
	Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。	① サービス実施計画を適切に策定している。	A	A	
		② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	A	A	

【自由記述欄】

・保護者の意見を求める意見ボードを園内に設け、無記名で意見を聞く取り組みを行っています。また、個人情報保護に関し、取り扱いマニュアルを整備して、一人ひとりのプライバシーの保護に配慮しています。

・自己評価の結果から明確になった課題について分析し、乳児、幼児会議で検討して、更に職員会議で話し合うなど取り組む姿勢が伺えました。

・乳児担当者会議、ケース会議を定期的に行い、職員専用供覧ノートで会議での内容を報告するなど職員全員で情報を共有し、園児の保育サービスの質の向上に努めています。

・施設や保育に対する考え方や内容を基本に、保護者や職員の意見や提案を集約・検討し、保育計画を定期的に見直し、乳児、幼児会議などの主担会議で内容を検討し、全体会議で周知しています。

・事業所の変更や家庭への移行については、行政が関わっていますが、書面で利用機関の情報提供をするなど、サービスの継続に配慮しています。

・児童票に健康状況や生活状況を記録しています。保護者個人面談や全体職員会議で子ども一人ひとりの発達状況を把握し、個々に応じた指導計画を作成し、また定期的に見直し・改善を実施しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【付加基準】 評価結果対比シート 保育所

受診施設名	くすのき保育園
施設種別	保育所
評価機関名	京都府保育協会
訪問調査日	平成20年12月16日

【付加基準】保育所版 評価結果対比シート

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 子どもの発達援助	(1) 発達援助の基本	① 保育計画が保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている	A	A
		② 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している	A	A
	(2) 健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	A	A
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	非該当	非該当
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	A	A
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	A	A
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	A	A
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	A	A

【自由記述欄】

- ・法人の一貫した理念、基本方針に基づいた保育計画を適切に作成されています。
- ・自治会や民生児童委員会を通して地域の実態や要望などを把握しています。また、保護者アンケート、全園児対象の年2回の懇談会でも意向を把握し、保育に取り入れています。
- ・子どもの健康状況を入園時に把握し、関係職員で周知し保育に反映しています。業務に係る必要な連絡事項については、職員会議や職員連絡ノートを活用し職員全体での情報の共有を図っています。
- ・毎朝のミーティングで食事のメニューを周知しており、気候にあわせた日中の過ごし方など、子どもの状況などに配慮して保育を行っています。
- ・健康診断の結果は看護師によって保護者、全職員に周知しています。0歳児から歯磨き指導を実施しています。看護師による保健指導を行っています。栄養師や調理員も各クラスに入り子どもたちと一緒に食事をし、喫食状況を把握しています。
- ・毎月、誕生月児の保護者を招待し、給食試食会を実施しています。

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 子どもの発達援助	(3) 保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	A	A
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	A	A
	(4) 保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	A	A
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	A	A
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	A	A
		④ 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている	A	A

		⑤	さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	A	A
--	--	---	------------------------------	---	---

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果		
			自己評価	第三者評価	
A-1 子どもの発達援助		⑥	遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦	子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している	A	A
		⑧	性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	A	A
		⑨	乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑩	長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑪	障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	A	A

【自由記述欄】

- ・毎月、設備、遊具などについての定期点検及び園庭整備を実施しています。専門業者による布団乾燥を実施しています。イグサ、カーペットなどの利用によりくつろげる場所の確保があります。
- ・子ども達に対して肯定的な言葉がけを行うよう努めています。
- ・外国籍の園児については、それぞれの国の文化の把握に努め、職員間で共有し丁寧な対応を心がけています。
- ・出席簿、個人の持ち物など男女の区別をしていません。
- ・長時間にわたる保育に対しては、特にリラックスできるよう時間帯や人数に合わせた環境を整備しています。職員間の引き継ぎ時、保護者への申し送りについて、メモを作成するなどの工夫が見られます。

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果		
			自己評価	第三者評価	
A-2 子育て支援	(1)入所児童の保護者の育児支援	①	一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	A	A
		②	家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	A	A
		③	子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	A	A
		④	虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	A	A
		⑤	虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	A
	(2)一時保育	①	一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	非該当	非該当
A-3 安全・事故防止	(1)安全・事故防止	①	調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	A	A
		②	食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	A	A
		③	事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	非該当	非該当
		④	事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	非該当	非該当
		⑤	不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	非該当	非該当

【自由記述欄】

- ・日常的な保護者との情報交換は、送迎時の対応や連絡帳などを通じて行っています。年2回全園児対象に個別相談を実施しています。
- ・児童虐待に関しては、早期発見、早期対応に努めており、職員間、また関係機関と連携して行っています。
- ・調理場水周りの衛生管理はマニュアルが整備されており、それに付随する点検票も作成記録されています。